



## 救急車(救急自動車)について

外科

原 朋広



1798年、ナポレオン I 世のエジプト遠征に従軍した医師ラレーが、負傷兵を後方の医療軍営に搬送するために救急ラクダを思いつきましたが実現しませんでした。

戦争に負けてフランスに戻ったラレーは救急馬車を造りアンビュランスと名付けました。フランスは軍事機密として出来るだけ内緒にしていたのですが、1861年のアメリカ南北戦争では「救急馬車隊」としておおびらに模倣され、大活躍しました。

1881年の年末にオーストリアのウィーンのアペラ歌劇場でおきた大火災(398人死亡)をきっかけにお金持ちが中心となって公的救急医療制度を始めました。ここで初めて先程までの救急馬車が一般市民の急な傷病(おもにケガ)に対応することになりました。

1887年にやっとダンロップが空気入りのタイヤを発明、以前からあった自動車が揺れなくなって1905年、ようやくウィーン救急隊の救急馬車が救急自動車に変わりました。

日本では1927年に119番という火事、救急のための電話番号ができましたが当時大半の都市では消防救急は警察の業務だったので119番は警察の番号でもあったようです。1933年に公的医療制度としては日本で初めての救急車が横浜で走りました。

戦後、いろいろあり1964年東京オリンピックの年には救急車の出動が3年間で倍増(交通事故やその他の災害のケガの占める割合が大きかった)し、その前年より全国どこでも同じように救急車の恩恵が受けられるように法律や制度が作られました。同時に受け入れ先の救急病院を確保する法律も作られました。それを境に、救急車の出動件数はさらに増加し、特にケガ以外の急病に対する出動の割合が大きくなりました。救急隊員の守備範囲も拡がり、出動現場での迅速な医療行為も必要なため、1991年に救急救命士法ができました。

法律は整備されても救急車受け入れタライ回しなどの問題は依然として根が深いです。増え続ける出動要請に救急隊員は疲弊し、越谷の皆さんは比較的救急車を呼ぶのを遠慮しがちかもしれませんが、ここぞというときにはためらわず救急車を呼びましょう。

部 署 Vo.3

紹 介 ~ 外 来 ~

当院の外来について紹介します。

外来診療は、内科・外科・整形外科・泌尿器科・形成外科の5科で診療を行っています。1日平均外来数は、230名ほどです。

その他に救急外来、内視鏡検査を担当しています。救急外来は、2次救急指定病院であり、救急車の受け入れ件数は月平均180件前後となっています。

また看護ケアの提供として、フットケアや糖尿病腎症予防指導やリンパケア、弾性ストッキングの装着の指導なども行っています。

今後も医師や多職種と連携をはかり、外来看護の質向上を目指していきます。何か気づいたことや相談したいことがありましたら、外来看護師に遠慮なくお声をかけて下さい。

朝のごあいさつ!

おひとりずつ丁寧に  
に対応します!

救急車を上手に使いましょう  
~ 救急車 必要なのはどんなとき? ~



府川 由加里

病院理念

地域の中核病院として、安全で質の良い医療を提供します。

基本方針

1. 私たちは、患者様の人権を尊重し、理解と同意のもと満足いただける医療を提供します。
2. 私たちは、他の医療福祉施設と連携を図り、地域住民の健康を確保するための医療を提供します。
3. 私たちは、医療の質を向上するために自己研鑽します。



当院は、敷地内(駐車場含む)禁煙です。ご理解、ご協力の程お願い致します。

# 新入職員のご紹介

4月、17名の職員が入職致しました。皆様どうぞよろ



★渡邊 浩祥(わたなべ ひろよし): 診療部  
4月より診療部内科配属となりました渡邊です。よろしくお願ひ致します。



★豊田 紘二(とよだ こうじ): 診療部  
絶やさぬ笑顔がモットーです。よろしくお願ひ致します。



★古川 裕和(ふるかわ ひろかず): 診療部  
初めまして。一年間という短い期間ですが、よろしくお願ひします。



★鈴木 美恵(すずき みえ): 看護部  
患者さんの苦痛を取り除き安心感と笑顔を提供できる看護師になりたいと思っています。明るく元気に頑張ります!! ☺

★大林 久江(おおばやし ひさえ): 看護部  
この春より皆さんと一緒に働かせて頂くことになりました。どうぞ宜しくお願いします。

★杉浦 敦子(すぎうら あつこ): 看護部  
看護部所属になります。趣味はツーリングとカメラとゲームです。至らないことも多々あると思いますがお願いします。

★大野 菜々(おおの なな): 看護部  
私の看護観は『患者さんに寄り添った看護を提供する』です。病院の理念のもと思いやりの気持ちを忘れずに日々努力します。

★村形 梨絵(むらかた りえ): 看護部  
4月1日より看護部に配属になりました。緊張と不安でいっぱいではありますが、頑張りますのでよろしくお願いします。

★加藤 奈津美(かとう なつみ): リハビリテーション科  
患者様や職員の方々との喜びも悲しみも分かち合えるようなOTを目指し、努力しますのでよろしくお願いします。

★中村 裕真(なかむら ゆうま): リハビリテーション科  
1日でも早く患者様の力になれるように頑張っていきたいと思っています。

★岸 潤樹(きし ひろき): リハビリテーション科  
元気に明るく頑張っていきます。よろしくお願いします。

★高谷 咲希(たかや さき): リハビリテーション科  
できるだけ早く仕事をこなせるように努力していきたいです。よろしくお願いします。

★桑山 淳(くわやま じゅん): 検査科  
患者様に一日でも早く質の良い医療を提供出来るよう頑張りたいと思います。

★長谷川 泉(はせがわ いずみ): 検査科  
今年度から検査科に所属となりました。これからたくさん迷惑をかけると思いますがよろしくお願いします。

★山口 菜摘(やまぐち なつみ): 薬局  
ディズニーキャラクターでチップとデールが好きです。見分けがつかない方はぜひ声をかけて下さい！よろしくお願いします。

★村上 知穂(むらかみ ちほ): 薬局  
今年度より薬剤科に配属になりました。最初のご迷惑をおかけすることもあると思いますがお願い致します。

★金子 奈生(かねこ なお): 医事課  
医事課の金子奈生と申します。名前は女性のようにですが男らしくフレッシュに病院を明るくしていきます！



少しずつ日差しが強くなってきました。今年も当院では電力の使用削減を目的として、クールビズを実施致します。下記の期間中、事務職員はノーネクタイ等の軽装にて業務させていただきます。皆様の、ご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

◇実施期間◇ 平成28年5月9日～平成28年10月31日



診療統計 平成28年1月～3月(月平均)

■ 外来延べ患者数 16,518名(5,506名)  
■ 入院延べ患者数 16,525名(5,508名)  
■ 一日平均外来患者数 223名

■ 救急搬入数 576名(192名)  
■ 紹介患者数 593名(198名)  
■ 手術件数 418件(140件)  
■ 内視鏡件数 234件(78件)



